

日々の田高（理数研究拠点校校外学習 -研究室訪問-）

8月21日、夏の課外学習および理数研究拠点校の取り組みとして、学習院大学理学部生命科学科分子生物学研究室を訪問しました。生徒はDNA損傷修復やゲノム安定性に関する研究について学び、高校で学ぶ生物学と最先端研究とのつながりを感じました。また、実験室見学や実験体験、学部生・大学院生との座談会を通して、大学での研究活動や学生生活への理解を深めました。

		
教授による研究室紹介	研究室での実験体験の様子	動物生理学研究室
		
ヒメシュモクバエ	構内の森	集合写真

実施後の生徒アンケートでは、「大学で行われている研究について知ることができて面白かった」「実際の研究室の雰囲気を実験できて楽しかった」「進路や大学での学びについて考えるきっかけになった」などの感想が寄せられました。また、高校の実験室にはない研究用の機器を使用し、大学研究員の助教の方から直接指導を受けながら酵母の測定を行うことで、大学における研究活動の一端を体験する貴重な機会となりました。

今回の研究室訪問を通して、生徒一人ひとりが自身の興味・関心や将来の進路について考え、学問を探究することの面白さに気付くきっかけとなれば嬉しく思います。大学で行われている研究に直接触れることで、授業で学ぶ内容と実社会・研究現場とのつながりを見だし、今後の学習や探究活動への意欲向上につながることを期待しています。